エーオーユー
AOUニュース 新年号
発行人 社団法人全日本アミューズメント施設営業者協会連合会
〒101 東京都千代田区神田須田町1-4-1
TSI須田町ビル6F
TEL. 03(3253)5671〜2
FAX. 03(3253)5688
編集人 広報委員会
発行日 平成7年1月1日

年頭ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ますますご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、昨年は、警察行政各般にわたり、格別のご理解とご協力を頂きましたことに対しまして、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、最近のゲームセンター営業は、高度な技術を結集したハイテク遊技設備をはじめバラエティに富んだ遊技設備が設置され、若者から家族連れまで幅広い層が利用するなど、国民各層に親しまれる身近な娯楽の場を提供するものとして、着実な発展を遂げられているところであり、皆様方のご努力に心から敬意を表する次第でございます。

一方で、業界の発展とともにその果たすべき役割、社会的責任がますます大きくなっていることも確かであり、営業の適正が確保されないとなれば、遊技設備を使用した賭博が蔓延するなど、善良の風俗等を害し、あるいは少年の健全な育成に障害を及ぼすなど、業界全体が社会的信用を失う事態となりかねないのであります。

幸い、貴連合会におかれては、設立以来、風営適正化法の目的とする、善良の風俗と清浄な風俗環境の保持及び少年の健全な育成に障害を及ぼす行為の防止のため、組織の拡充整備をはじめ、会員研修会、青少年指導員養成講座等の活動を積極的に推進されて成果をあげられているところであり、今後とも、業界の指導的役割を果たす団体として、アミューズメント施設営業の適切な運営にご尽力いただけるものと大きな期待を寄せているところであります。

私共といたしましても、引き続き皆様方の業界の健全化に取り組んで参りたいと考えておりますので、昨年同様のご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、業界のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成7年元旦

警察庁生活安全局生活環境課長　瀬川 勝久

専門委員会・委員長
運営委員会・委員長・入江昭造
事業委員会・委員長・駒井徳造
研修委員会・委員長・大野圭一
広報委員会・委員長・平本将人
法務委員会・委員長・橘正裕
健全営業推進委員会・委員長・吉田勲
調査研究委員会・委員長・位田宗一

区分	氏名	所属団体名	団体職名
名誉顧問	中西昭雄	株式会社タイトー	相談役
名誉顧問	梅原靖三	大阪府協会	会長
顧問	内田博	日本SC遊園協会	会長
顧問	宇島準一	日本娯楽機械オペレーター協同組合	理事長

（社）AOU役員（理事23名、監事2名）

役職	氏名	所属団体名	団体職名
会長	入江昭造	栃木県協会	会長
副会長	駒井徳造	東京都協会	会長
〃	大野圭一	茨城県協会	理事
〃	平本将人	広島県協会	会長
〃	橘正裕	東京都協会	理事
専務理事	桜井健雄	(社)AOU事務局	
理事	田中亀雄	北海道協会	会長
〃	坂武	秋田県協会	会長
〃	天沼勝	福島県協会	会長
〃	梶格康	茨城県協会	理事
〃	真鍋勝紀	東京都協会	副会長
〃	飯沢幸雄	東京都協会	理事
〃	相田進	東京都協会	理事
〃	位田宗一	愛知県協会	会長
〃	福田豊	愛知県協会	副会長
〃	鈴木光紀	三重県協会	副会長
〃	吉田勲	京都府協会	会長
〃	上田芳弘	大阪府協会	副会長
〃	川楠俊太郎	大阪府協会	副会長
〃	松田次雄	岡山県協会	会長
〃	高仲四郎	香川県協会	副会長
〃	長友隆典	福岡県協会	会長
〃	政須美夫	鹿児島県協会	会長
監事	日達健	山梨県協会	会長
〃	杉山勉	静岡県協会	理事

年頭所感とAOU活動について

会　長
入江昭造

新年あけましておめでとうございます。

平素は当連合会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、年を経るごとに活発な活動を続けております。何卒倍旧の御支援、ご協力をお願い申しあげます。

1、アミューズメント施設営業の展望

わが国の経済は、昨年秋頃から緩やかながら回復の兆しをみせております。アミューズメント施設においても、ようやく底入れの段階に到達したことが感じられるようになりました。いよいよこれからが正念場であると考えます。一部には業界の2極分化が進むとの懸念が囁かれておりますが、アミューズメントの原点は、投資金額の大小に左右されるものばかりではありません。ゲーム性の追及や快適空間の演出や従業員のきめ細かなおもてなしは、大型、小型を問わず共通した永遠の課題です。業界挙げてこの課題に取組み、それぞれの店舗の実情に応じてお客様の支持を獲得し、アミューズメント業界全般の社会的評価を高めていくことが肝要と考えます。

ミニテーマパークをはじめとする大型店舗の創設は、アミューズメント施設の複合化を推進させ、余暇時代を先取りし、将来への可能性を予見させると共に、業界の健全な姿を強くアッピールいたしました。一方、アミューズメント施設の大多数は中小店舗で構成されていることも事実でして、これら大型店舗での試行錯誤の中に学ぶべき点を見出し、また、中小店舗でなくてはできない特徴を打ち出して、地域社会との緊密な連携を高めていきたいと思います。

本年はアミューズメント業界上昇の年にいたしたいと思います。メーカー各位に、クレーンゲームに続くヒット商品の開発や、CGやVR技術を駆使したハイテク商品の開発をお願いしたいと存じます。また、廉価でかつゲーム性に富んだ継続性のある商品もお願いしたいと存じます。オペレーター各位には、明るく健全な運営を更に推進すると共に、地域社会との繋がりを深めて、周囲から親しまれ、信頼されるアミューズメント施設にしていただきたいと思います。

私共の業界は、夢を育むものであり、明日の文化の担い手でもあるわけです。今後、技術革新が進み、画像や音声の立体化が、プレーヤーに今まで体験したことのないすばらしい世界を提供することになるでしょう。アミューズメント施設は、人々がそのすばらしい世界を楽しむ場となるのです。長年の経験と自信のもとに、たゆまぬ努力を続けて、明日のアミューズメントの明るい展望を切り開いていきたいと思います。

2、AOU活動について

新たに調査研究委員会を加えた、7つの専門委員会が中心となり、内容を一層充実させた活動を展開していきます。その中で予定する主な活動について述べさせていただきます。

①風営適正化法の見直し

風営適正化法の見直しを行ない、JAMMA及びNSAと協議して、対象遊技機の規制緩和や地域制限と営業時間の緩和等について関係官庁へ意見具申をいたします。また、諸手続の簡素化についても具体的事例に基づき、改善を求めてまいります。

②消費税の対応

消費税の対応について、実情を訴えていくと同時に、研究会やセミナーを通して、業界のコンセンサスをまとめて、適切な対応を見出す努力を続けてまいります。

③障害者対象ゲーム大会

障害者対象ゲーム大会は、大規模な開催は大阪で４００人、名古屋で３００人を招待して行ない、小規模な開催は甲府（山梨県）や津山（岡山県）で１００人前後を招待して行ないました。今後も社会還元の一端の活動として、徳に地域社会との緊密な係わりをもてる小規模な開催を全国各地で数多く行なってまいります。

④「ゲームの日」の創設

「ゲームの日」の創設をJAMMA、NSAと共同で検討してまいります。本年4月から学校が第2土曜の休校に加えて、もう一日増えることが予定されています。ファミリーを対象に業界としての対応を考慮する時期が来たと考えます。

⑤各種研修会

青少年指導員養成講座や技術研修会に加えて、店舗管理者研修会の充実をはかってまいります。これらの研修会は地区協議会開催の規模の大きなものばかりでなく、県協会単位の小規模なものを活発に各地で開催してまいりたいと思います。

⑥会員組織率の向上

最後に会員組織率の向上についてですが、昨年三重県協会のご努力で県内95パーセントの組織率を達成していただきました。本年は広島、長野、栃木の各県で同様の活動を展開しております。また、名乗りをあげていない県協会でも、大変熱心に取り組んでいるところもございます。組織率のアップはAOU活動の原動力に直接関与します。内部の充実は勿論、外部への発言力や影響力を増殖させます。各位のご協力をいただき、業界発展の強力な推進母体を作りあげたいと存じます。

以上年頭にあたり所感を述べさせていただきましたが、各位の深いご理解とご支援を重ねてお願い申しあげます。

以上

あけまして
おめでとうございます

平成7年 元旦

地区協議会

◆**北海道地区協議会**
会長・田中 亀雄(北海道)

◆**東北地区協議会**
会長・坂 武(秋田)

◆**北関東地区協議会**
会長・中嶋 豊彦(千葉)

◆**関東・東海地区協議会**
会長・駒井 徳造(東京)

◆**中部・北陸地区協議会**
会長・東 源太郎(石川)

◆**近畿地区協議会**
会長・松下 實人(大阪)

◆**中国地区協議会**
会長・平本 将人(広島)

◆**四国地区協議会**
会長・福嶺 巌(愛媛)

◆**九州・沖縄地区協議会**
会長・長友 隆典(福岡)

事務局

事務局長・桐谷 克己
事務局員・林田 和弘
〃 ・川畑 千恵
〃 ・田島 栄子

専門委員会委員(◎印は委員長)

◆**運営委員会**
◎**入江 昭造(栃木)**
・駒井 徳造(東京)
・大野 圭一(茨城)
・平本 将人(広島)
・橘 正裕(東京)
・吉田 勲(京都)
・位田 宗一(愛知)
・桜井 健雄(東京)

◆**事業委員会**
◎**駒井 徳造(東京)**
・入江 昭造(栃木)
・大野 圭一(茨城)
・平本 将人(広島)
・橘 正裕(東京)
・吉田 勲(京都)
・位田 宗一(愛知)
・桜井 健雄(東京)

◆**健全営業推進委員会**
◎**吉田 勲(京都)**
・石川 忠太(新潟)
・駒井 修(東京)
・鈴木 光紀(三重)
・朝日 正博(滋賀)
・太田 保之(大阪)
・上田 芳弘(大阪)
・松田 次雄(岡山)
・外山 喜平(香川)
・仲谷 繁松(大阪)

◆**広報委員会**
◎**平本 将人(広島)**
・周田 蔭視(広島)
・森本 登(大阪)
・今西 徹(大阪)
・原 昌也(大阪)
・川 博久(岡山)
・福嶺 巌(愛媛)
・新田 靖弘(大阪)
・福田 豊(愛知)

◆**法務委員会**
◎**橘 正裕(東京)**
・田中 亀雄(北海道)
・宇島 準一(茨城)
・早見 一義(静岡)
・飯島 清勝(千葉)
・永井 明(東京)
・内田 博(東京)
・松下 實(大阪)

◆**研修委員会**
◎**大野 圭一(茨城)**
・坂 武(秋田)
・畑 晴夫(山梨)
・羽生 勲(宮城)
・松田 修(山形)
・波岡 護(東京)
・山本 隆司(千葉)
・岡田 明彦(栃木)
・小町 賢治(東京)

◆**調査研究委員会**
◎**位田 宗一(愛知)**
・久田 益男(東京)
・柿崎 庸三(長野)
・曽我 栄蔵(静岡)
・東 源太郎(石川)
・宿谷 英雄(三重)
・福田 豊(愛知)
・川楠俊太郎(大阪)
・山縣 宗夫(東京)

会員団体(団体名、会長・理事長)

団体名称中の「AM」は「アミューズメント」の略

北海道AM施設営業者協会
会長・田中 亀雄

青森県AM施設営業者協会
会長・中村 緑

秋田県AM施設営業者協会
会長・坂 武

岩手県AM施設営業者協会
会長・佐藤 義雄

宮城県AM施設営業者協会
会長・遠藤 昭康

山形県AM施設営業者協会
会長・立里 一正

福島県AM施設営業者協会
会長・天沼 勝

茨城県AM施設営業者協会
会長・宇島 準一

栃木県AM施設営業者協会
会長・入江 昭造

群馬県AM施設営業者協会
会長・長井日本機

埼玉県AM施設営業者協同組合
理事長・佐藤 信

千葉県AM施設営業者協会
会長・中嶋 豊彦

新潟県AM施設営業者協会
会長・桜井偉久男

東京都AM施設営業者協会
会長・駒井 徳造

神奈川県AM施設営業者協同組合
理事長・宮治 実

山梨県AM施設営業者協会
会長・日達 健

長野県AM施設営業者協会
会長・柿崎 庸三

静岡県AM協会
会長・曽我 栄蔵

石川県健全娯楽業協会
会長・東 源太郎

福井県AMオペレーター協会
会長・赤尾 龍一

富山県AM協会
会長・秋田 康夫

岐阜県ゲーム機オペレーター協会
会長・真鍋 功

愛知県AM施設営業者協会
会長・位田 宗一

三重県AM施設営業者協会
会長・松本 静雄

滋賀県健全娯楽業協会
会長・西田 勝弘

京都府AM施設営業者協会
会長・吉田 勲

大阪府AM施設営業者協会
会長・梅原 靖三

兵庫県AM施設営業者協会
会長・西山 清治

奈良県AM施設営業者協会
会長・松村 克彦

和歌山県AM施設営業者協会
会長・金谷 晴夫

島根県AM施設営業者協会
会長・福田 照三

岡山県AM施設営業者協会
会長・松田 次雄

広島県AM施設営業者協会
会長・平本 将人

山口県AM施設営業者協会
会長・萩田 雅重

鳥取県AM施設営業者協会
会長・前田 達人

徳島県AM施設営業者協会
会長・武市 哲夫

香川県AM施設営業者協会
会長・外山 喜平

愛媛県AM施設営業者協会
会長・福嶺 巌

高知県AM施設営業者協会
会長・竹内 良一

福岡県AM施設営業者協会
会長・長友 隆典

長崎県AM施設営業者協会
会長・島田 武

大分県AM施設営業者協会
会長・石橋 信昭

宮崎県AM施設営業者協会
会長・原田 福一

鹿児島県AM施設営業者協会
会長・政 須美夫

佐賀県AM施設営業者協会
会長・三橋 国和

熊本県AM施設営業者協会
会長・嶌田 亘人

沖縄県AM施設営業者協会
会長・仲順 利治

——以上、47団体

青少年指導員養成講座より

『青少年の心理と行動』

講師　広島テレビアナウンサー　木村隆司氏

10月18日～20日の3日間に亘る「第15回青少年指導員養成講座」（広島県佐伯郡、宮島コーラルホテル）より、第2日目に行なわれた木村隆司氏（広島テレビアナウンサー）による講義「青少年の心理と行動」を掲載します。

教育不在の日本 人生を説く道場を主催

皆さん初めまして。私は青少年育成の専門家ではありません、青少年の心理や教育学とかいうものを学んできたことも一切ありません。ただ今日までの20数年に亘る少林寺拳法においての青少年達との関わりの中、この体で覚えてきたことを皆様にお伝えできればと考えています。

この少林寺拳法をやっている中で、多くの人との出会いがありました。現在道場には小学一年生から50歳代の方に至るまで150人ばかりが修行を重ねており、その中には子供達の親が覚醒剤に手を出したり、万引き等をして警察のお世話になったような子供達もたくさんいます。そういう人達との歴史であったと考えてもらっても差し支えないと思います。

いろいろな泣き笑いやドラマがありました。また今日までマスコミで24年間お世話になり、世の中の表と裏、嘘と本当といったものもしっかりと見つめさせてもらいました。その全ては人間の営みです。自ずとそういうものに揉まれると、人間はどう生きることが尊いもので、生きるとは一体どういうことなのかを、考えざるを得なかったのです。

それは学校教育の一番基本に据えられなければならないテーマだと思いますが、現在の学校教育のテーマには存在していないのではないかと感じています。私は今の青少年を見る限り、このままでは日本はダメになるという危機感を抱いています。もう一度、民間の道場で教育し直さなければならないという信念を持って、今日の道場を主催しているのです。

私が少林寺拳法を始めたのは、中学1年生の時、不良グループに材木でひっぱたかれて金銭を奪われ、その悔しさから「勝たなくてもいいから負けない男になろう」という力のコンプレックスからでした。そういう少年達も道場にたくさん入ってきます。その子供達には、「いじめられた君が悪いんだよ、やった彼を恨むんじゃないよ。何故自分がやられたのかという原因を考えてみようじゃないか。相手を責めたって自分の成長にはならない、自分が変わることが大事なんだよ」と懇々と諭してから修行に入るのです。そういう悔しさを味わった人間ほど必死になるもので、もし私がその不良にたかられずに拳法の修行をやらなければ、こうして皆様方と出会うこともなかったと思います。

これまでの教育の中で、人間がどう生きていくことが尊いのか、より良く生きんがために人生を学んだり、ということが実践されてきたでしょうか。私は日本の教育は教育不在だと思います。将来苦労をしないために勉強し、受験をし、会社に入って生活をするという連続こそが今の平和と豊かさをしっかりと築きあげた真の日本の姿だと思います。だから私は生きることへの緊張感を味わうことのない中で、腐敗と堕落に陥った姿が今の日本だと憂いている一人です。

吉田松陰先生は〝学問はただ学問であるという理由だけで無条件に尊いとは言えない、何の為の学問か〟と問うております。私は7、8歳の子供達にも入門の時必ず「君は何の為に学ぶのか」と問います、即ち志の確立です。

道場に入ってくる多くの若者達を見る限り教育を受けてきた痕跡がほとんど見受けられません。もし学校が悪いとすると、私達大人の生き方において、本当に生きるということを見せてきたのかと我々も問われることになります。道場の中でも子供達はやはり、我々がおろそかにしたことをおろそかにします。ですから私達大人が本当のことをやって見せなければならない。子

供達が自分と同じような大人になっていいのかということの問い詰めから始めるべきなのです。我々は祖先の汗に報い、子孫に恥じない生き方であるかを今の時代に問うてみる必要があるかと思います。

人生の大先輩達により蓄積されたもの

～ある特攻隊員の遺書～

戦争がなくなったこの日本で私達は後世に残る何を築いてきたでしょう。少なくとも戦後50年間の困難から立ち上がり平和を築いた中で、精神性、心、文化で何かを築いてきた痕跡はほとんど見当たりません。平和の中で、決して日本人は道徳性の高い国民にはなっていないのです。

平和の中で求めてきたもの、それは便利さ、豊かさ、安楽さ、快適さといった限りない人間の欲望部分でした。欲望を保証するための平和ならばそれは腐敗と堕落を招くのみです。平和は尊いと言いますが、私は平和ほど怖いものはないと思っております。ギリシャ、ローマ、ビザンティー、全部平和を貪ったところから身が滅びてしまいました。これが今、日本に忍び寄っていると認識しています。

平和の尊さを言うならば、命を保証された中で、いかに価値のある生き方をしているかということを以て平和の尊さを誇うべきだと思います。生きたくても生きられなかった人生の大先輩が、50数年前に存在したことの重みを考えなければなりません。

ここに特攻平和会館に展示されている遺書の中の1通があります。この方はOさんといわれる方で、お父さんは大阪の空襲で亡くなり、お母さんもその遺体を探し回り、心労が重なって後を追うように亡くなりました。Oさんという妹さんと二人が残されました。が、Oさんは特攻隊に志願し、飛び立った後、その飛行機の世話係の方から さん宛に1通の手紙が渡されました。

”あなたのお兄さんは今日立派に飛び立っていかれました。今頃きっと戦果を挙げていらっしゃることでしょう。あなたがお兄さんに作って差し上げた人形をいつも背中におぶっていらっしゃいました。普通そういうものは腰にぶらさげていますが、あなたのお兄さんは自分が突っ込む時にお人形が怖がってはいけないからといって背中におぶっておられ、訓練などの時にいつも背中でゆらゆら揺れて、そこにいるというのが一目でわかりました“と日頃の様子をしたため、”お兄さんがあなたにお手紙を置いていかれましたのでお届けします“とありました。

「懐かしいSちゃん、お別れの時がきました。兄ちゃんはいよいよ出撃します。この手紙が届く頃は沖縄の海に散っています。思いがけない母の死で幼いSちゃんを一人残していくのはとても悲しいのですが許して下さい。兄ちゃんの形見としてSちゃんの名前で預けていた郵便通帳とはんこ、これはSちゃんが女学校に上がる時に使って下さい。時計と軍刀を送ります、これもおじさんに頼んで売ってお金に換えなさい。兄ちゃんの形見などよりこれからのSちゃんの人生の方が大事なのです。もうプロペラが回っています。さあ出撃です。では兄ちゃんは行きます。泣くなよ、Sちゃん頑張れ。」

こういった先輩達が50数年前に尊い命の犠牲を払って、今の平和があるのです。これだけは後世の人々に伝えていきたいと思います。でなければこの平和が持っている重みがわからず、大事にする姿勢は生まれません。

人間の最上の幸せは堂々と生きること

”幸せ“とは何ですか?と聞くとほとんどの人が答えられません。漠然と苦労しないこと位にしか考えていないようです。

広島の街の辺りでは塾のビルが乱立していますが、親の願いをもって塾に通い、子供達はやらざるを得ない宿命の中に追い込まれている社会ではないかと思います。

一方で道場に入ってくる子供達の入門願書には親達の願いが書いてありますが、この多くは「正しい子であって欲しい」「強くなって欲しい」というものです。私は親御さん達に「冗談言っちゃいけませんよ」と言います。

正しいことというのはとても苦労し、勇気もいることです。大人の社会の中には、勇気がなくて物事に立ち向かっていけない、間違っていることがわかっていても注意ができないというような臆病な人達もたくさんいるのは本当だけれども、君達はそうでは困るんだということを子供達に諭しました。

正しく生きることはとても勇気がいる、しかし、たった一つだけご褒美があり、それはこの天地の間に堂々と胸を張って生きられるということなのです。正しいことを言う、これは大人の自立と言うけれども、こんなダイナミックな幸せはこの人間社会に無いと思います。私には一つの信念があり、それは天から嫌われることのみを恐れて生きたいということです。その精神を子供達に道場教育の中で植えつけています。

大人に課せられる”世代から世代への責任“

～ある留学生の話～

幸せとは即ち苦労を必然的に伴っている、苦労を離れた幸せなんてあり得ないのが本当なんだということをしっかりと教えておきたい。それを現代の価値観では苦労しないことが幸せであると言う、これは逆です。苦労と幸せは裏表の関係であり、苦労無くして幸せはあり得ないのです。

価値観の存在しない現代社会では、面白ければいい、楽しければいいという姿勢で生きる人が増えてくると思うのです。嫌なことは遠ざける、人の嫌がるようなことは言わない。

皆さんはアミューズメントの施設の中にいますが、楽しいことが含まれている遊びや娯楽というものの中にあればあるほどルールやマナーが要求されると思います。一人の人間のルールの逸脱は必ず他の人間に迷惑をかけます。遊びの中でこそ、そういったものを教えていかなければならないのです。

去年、広島大の大学院の留学生と電話で初めて接触したとき私が「日本の若者についてどうお考えですか?」と尋ねると、その女の子は「軽いね」と言ったのです。甘やかされている、しっかりしていない、レジャーばかりを求めている、アルバイトばかりで学校に来ない、来れば授業中は居眠りか雑談ばかり、欠席すれば代返させる。「きたないね」と言いました。

こういう青少年に育てたのは結局私達なのです。自分はそうはしてこなかったといって逃れられるものではなく、世代から世代への責任というものがあります。私達大人が

大事なことや尊いこと、そして大人はここが違うんだというものを見せてこなかったのです。だから彼らは本当の生き方を学ぶ機会もなかった結果です。

自分以外の最も尊い目的の為に生きる

我々の年齢になると自分の人生をそろそろ本気で考え始めます。人に「お前はよく動き回るな」と言われます。これが一つのきっかけでしたが、61年11月8日の夜、過労と睡眠不足で倒れ、その時考えたのは、大事なことは生きているうちにしなければならないということでした。その日以来、私はいつ死ぬかわからない、従って明日はないものと思い、大事なことは今日のうちに済ませるようにしています。また、自分の抱き得る最も尊い目的の為にわが身を捧げようと決意しました。

欲望の為に人間は死ぬことはできません。特攻の人々は後世の人々の為に死んでいきました。自分以外の尊いものの為に命を張る、それが本当なのです。即ち生の目的と死の目的は一緒なのです。そういう目的を持っている方というのは実に幸せな方と思います。

自分以外の人の為、親身になって本気でその人間を叱れる、その人間の幸せや将来を本気で憂うことのできる大人が少なくなってきているのです。あそこの店長さん、あるいは従業員の方のおかげで今の俺があるんだよ、と言われるような拘わり方のできる大人になって欲しいと思います。学校の先生だけが人生を導ける人ではありません。もっと社会の他のことで関わり、影響力のある人になって欲しいと思います。

美しく生きるということ
～ある少年の母親の姿～

今日は女性の方も多いようですが外見的な美しさだけでなく、美しく生きていきたいという願いも持っているのではないでしょうか。強くなければ美しく生きられないという話をしたいと思います。

ある一人の母親が、どれだけ私共の道場の青少年に対して大きな感動と感銘をもたらしたかという事例です。

これまで私は道場で3人の男の子を事故で無くしました。一人の男の子は小学校の時代から中学校に上がるまでの間を道場で過ごしました。お父さんはペンションを建てる夢があり、お母さんの里の島根県に引っ越してペンションを建てました。自ずとこの子供も一緒に引き上げていったのですが、実に素晴らしい子でした。

何故この子がいい子に育ったのかがわかったのは亡くなった後です。

連絡が入ると、すぐに幹部を集めて車で向かいましたが、もう通夜も終わっていました。家へ入るとお母さんが走って来て、玄関に頭を擦りつけて「びっくりさせてごめんなさい」これが第一声でした。私は”こんな時にこんなことが言える人なのか„と思いました。そして奥の座敷へ通され、彼の顔にかかる白い布を取ると交通事故にしてはきれいな顔をして目を閉じていました。お母さんがその耳元に口を擦りつけるようにして「K、起きなさい！あなたが一番尊敬をし、一番恐がっていた先生が来られましたよ！」と叫ぶ様子は哀れで見ていられませんでした。その彼の耳元で私は「Kや、僕の最後の願いを聞いて欲しい。それは大事なお前を失ってご両親は大変悲しんでおられる。お前に性根があるならこのご両親を生涯見守って欲しい。これが最後のお願いだよ」と言って別れました。

それから初七日にお線香をあげに伺いました。「辛いですね」と声をかけるとお母さんは悲しみをこらえながら「先生、私達親はどんなに悲しくても泣いちゃいけないんです。泣いたらKに親不孝をさせたことになります」と叫ぶのです。私は言葉が出ませんでした。

そして四十九日が巡ってきて、私の家にお礼の挨拶に来ましたが不在だったため、手紙を置いていきました。これがその中身です。

『突然に伺いました、申し訳ございません。明日から急に仕事が入りました。後日ゆっくりと手紙を書きます。四十九日法要を終え、Kも仏様となりました。あの子はよく頑張り、命一杯生きました。Kの残したお金です。意気地の無い親でとても使うことができません。ちょっと気取って一升瓶（バーボンでしょうか）を持って皆様のところへ現れたと思って受け取ってやって頂きたく存じます。何かお役に立てば、Kもニッコリ笑って満足することでしょう。

お願いと致しましては、これは何も私達が良いことをしているのではなく、意気地が無いだけです。美化して捉えて頂かないようお願いします。急な手紙、車の中での走り書きをお許し下さいませ。お礼の電話などどうぞおかけになりませんように』

慌てて中を開いてみると、彼が1年足らずの間に貯めた50万円が包まれていました。私はそれを持って泣きました。それを親達が意気地が無いから使えない、我々に使えというのは実に残酷なことです。しかしこれはお返しできる趣旨のものではない、何に役立たせれば良いかと考えました。

”まれびと„という和太鼓のグループがあります。日本一の太鼓演奏を目指し、道場の中で一番質の高い修行をしている者にしか叩かせません。彼らの練習は皆が帰ってから、古タイヤに雑巾をかぶせて音がしないようにして行ないます。太鼓は最初から買いません。それは最初から有るものは有ることが当然になり、無いことを知らなければ有ることの意味と感謝が芽生えないからです。今の若い人達は生まれた時が平和で豊かであった為に、平和と豊かさが当たり前のことになっています。そしてこの50万円でけやきの正式な太鼓を作ってもらいました。お母さんに彼の中学校時代の筆跡を同じようになぞってもらい、その半紙を太鼓に納めてあります。彼と共に私共の道場の連中は叩いて廻っているのです。

このお母さんは彼を亡くした悲しみの中で、一切取り乱すことなく一生懸命振る舞いました。このお母さんは強かったのです。そして、その姿

〈講師　木村隆司氏　プロフィール〉
昭和22年6月16日生まれ
昭和45年広島テレビ放送㈱入社　映画部に勤務
2年後、報道制作局アナウンス部へ---
27歳で開いた小林寺拳法の道場を運営し、青少年達との修行に取り組みながら青少年の諸問題に拘わってきた。

は道場の子供達に大きな影響を与えました。やはり大人の生き方はいかに青少年にとって大事であるかという一例です。

勇気を持ち、本当の事を実行するのが最大の教育

今は何でも人が悪いとする告発の社会ですが、これは人間が弱くなったことの証だと思っております。

私は父を、ある看護婦さんのミスから失うことになりました。母や姉は私が看護婦さんにお礼を言うことに対して「行かないで！お父さんは殺されたのよ」と叫びましたが、ミスをしたくてしたのではない、最後まで父に付き合ってくれたことに対してお礼を言わなければいけないと思い、伺いました。今の社会は非常に優しさの抜けた時代、赤い血が流れていない社会ではないかと思っています。

社会にはどんなに正しい考え方も大事なことも、勇気一つが無いがゆえに何の意味も持たないことがたくさんあります。

電車で人が降りる前に乗り込んできたりする人がいます。私が「降りる者が先！」と言うと必ず睨み合いが始まり、眼力のある方が勝ちます。目は心の姿勢、体の姿勢であり勢いです。何度も何度もそういう青年達といさかいを起こしてきました。それを避けてはこの人達を正すことはできず、我々が本当のことを行なって次の世代の人達に伝えなければならないのです。

また、世の中には人が嫌う仕事はたくさんありますが、その時に"ああいいですよ、私がやりましょう"と言える青年を育てようと取り組んでいます。それは私の先輩の毅然とした態度からの影響なのです。若い時代に記憶している大事なことは、何年経てそれが意味を持ってくるかはわかりません。だから我々大人は、いつ青少年が見ていても良いように、瞬間瞬間に本当のことを実行しておくということが最大の教育であるということをわきまえておきたいと思うのです。

"人を許せること"は"己の強さ"
～道場でのあるエピソード～

実は以前道場で、教費を頂いている、頂いていないという揉め事が生じました。一人の男の子の教費が納まってないということになり、その子は以前、デパートで教費を使い込んでいたという経歴もありました。いくら調べてもないということで家に電話をし、聞いて探すけれど無い。また電話をするというのを何度も何度も繰り返しました。

どんな子に渡しましたかと聞くと、お母さんは「猿のようなお子さんです」と言いました。そして、その子は電話を切ってみんなのいる場へ戻り、「猿のような子だって」と言った時に一人の男の子の顔がさーっと青ざめたのです。

私が道場に行き、話を聞きました。子供達は車座になって話しています。「お前達、何してるんだ」と言うと、「二度とこのようなことが起こらないようにするためにはどうしたら良いか、ということを話し合っています」と答えました。そしてその顔が青ざめた子を呼び、「お前、ここは辛抱してくれな」と言いました。するとこの子は涙を浮かべて私の顔を見上げ「先生、心配しないで下さい。僕は気にしませんから」と言うのです。大人から猿のようと言われて気にならない事があるでしょうか、彼は一生懸命耐えているのです。

それから調べてみると手違いとわかり、私はすぐにお詫びの電話を入れました。ただたまらなくなってもう一度電話を入れ、ちょっと事務所に足を運んでもらいました。ご両親は意気揚々と来られました。

もう一度お詫びを言ってから、「子供にどうして猿のようだというような心ないことを仰ったのですか」と言うと、「だって、子供がそう報告したんです」と取りつくしまもない。何度言ってもわからないので、「わかりました。お引きとり下さい。ただこれだけは覚えておいて頂きたい。お母様方は子供のことを許して下さらなかったと思います。しかしその子供は"猿のような子供"と言われて、大人であるお二人を許しています。この心の隔たりは大きいですよ」と言いました。夕方になってお詫びの電話を入れたようです。

人を許すということは己が耐えるということ。強くない人が人を許すということはあり得ないのです。

人の幸せの為に生きる影響力のある"一人"に

このような生き方をしていると、落ち込む余裕がありません。悩んで何も手につかないというのは、まだ悩む余裕があるということです。

私はもう47歳になり、自分の人生が幸せになるとか不幸になるのが嫌だとかそういうことには関心がありません。

社会で叫ばれるのは自由と平等と権利ですが、私の人生は全く逆でした。みんなが自由であることはあり得ず、誰かが自由であれば誰かが不自由をしのがなければなりません。不自由でも不平等でもいいじゃないか、それが人間の器というものだよと教えています。

その結果、多くの仲間を日本全国に得ることになりました。

釈迦は、「私は今、良き仲間を得、良き仲間と共に修行しておりますが、これは道の半ばまでたどり着いたことになりましょうか」と尋ねると「良き仲間を得、良き仲間と共に修行する、それは道の全てである」と答えています。

私達は人々の幸せのために生き、自分の幸せというのは人様があてがってもらうもののようです。どうぞ皆様方の元に集まってくる少年少女達に存在の意味があるように、何か彼らを幸せに導くことのできるような役割を担って頂ければと願うのみです。

今のままなら、明日も明後日も変わらない大人達に囲まれている少年少女達は不幸です。人生は、損得ばかりを考えると欲望の奴隷になってしまいます。世の中の価値の高い仕事というのは絶対に金に換えることのできないものです。

いずれ皆様にも私にも死が訪れますが、その時私には一つの理想があります。自分の命に魂があるのなら、"この人間の命として宿って本当に良かった。最後まで自分を使い切ってくれた"と命が喜んでくれるような生き方、死に方をしたいと思っています。

青少年達にたった一人でいい、正しい人に出会ってもらいたい。その一人が皆様方であって下さることを心から祈ります。

木村氏の熱のこもった講演と、胸を打つエピソードに受講生らは引き込まれるように熱心に聴き入り、2時間はあっという間に過ぎた

奈良

第10回理事会を開催 併せて年末懇親会 12月7日

奈良県アミューズメント施設営業者協会（松村克彦会長）は12月7日、第10回理事会を開催した。（奈良市・春日ホテル、午後4時～、出席理事8名、委任出席6名、事務局1名）

1、平成7年度新春賀詞交歓会開催について

事務局より以下の説明があった。

①例年通り今回も近畿地区協議会主催で、1月6日午後6時30分より大阪東洋ホテルにて開催する。

②パーティー券の奈良県協会割り当て分は10枚。

③料金は、例年通り1万4千円。

④全部で300枚発行とのことである。

奈良県割り当て分を消化するため、極力協力することになった。

2、その他

事務局より以下の報告があった。

①障害者ゲーム大会の開催

大阪府協会主催で、来年3月27日大阪府堺市において障害者招待ゲーム大会を開催する。

過日開催した近畿地区協議会の会議で、大阪府を除く五府県協会で、同大会に協力する意味で一府県協会2万円を拠出することを承認した。

②AOU・JAMMA・JAPEA三協会主催による新春賀詞交歓会が、1月12日東京赤坂プリンスホテルにて開催される。

以上で、第9回理事会の審議事項は全て終了し、引き続き同場所で年末懇親会を開催し、午後7時散会した。

香川

会議「準会員について」他、並びに忘年会を開催 12月3日

香川県アミューズメント施設営業者協会（外山喜平会長）は12月3日、高松市内の「丸福苑」にて忘年会を開催した。

開催に先立ち午後5時より、出席者11名による会議を開いた。議題は、「準会員について」「プレイ料金について」など。その他、情報交換を行なった。忘年会は午後7時より開催し、午後9時盛大裡に終了した。

愛媛

平成6年度 第4回定例会を開催 12月7日

愛媛県アミューズメント施設営業者協会（福嶺巌会長）は12月7日、平成6年度・第4回定例会を開催。（道後温泉・古湧園、午後5時～6時、出席者10名）

①ゲーム場アンケート調査について

＊配付してあるアンケート調査資料を12月25日(日)までにまとめて、持参するよう要望し、了承された。

②年間優秀機械表彰のアンケートについて

＊11月30日付「AOU調査委員会」からの資料を配布、12月25日(日)までにまとめて、持参するよう要望し、了承された。

③1995年アミューズメント産業「新春賀詞交歓会」について

＊11月26日付「AOU事務局」からの資料を配布。締切は、12月20日(火)

④平成7年度「AOU四国地区協議会・新年会」について

＊平成7年2月7日(火)「ホテル奥道後」で行なうことが決定。EAOの会員全員が出席の予定。

＊10月26日(水)に開催された「四国地区協議会・第5回総会」で、平成7年度、8年度の四国地区協議会事務局及び会長をEAOが受け持つ事に決定したため、会員に今後一層の協力を要望した。

⑤その他

＊来年、愛媛県で開催される「平成7年度・AOU全国大会」について意見交換を行ない、年明けから準備することで了承された。

＊次回の定例会は、平成7年2月7日(火)「ホテル奥道後」にて行なう予定。

★尚、今回の定例会は、今年最後の定例会の為、会議終了後、午後6時～午後8時まで「古湧園」で忘年会を行なった。

大阪

第59回理事会（12／6） 次期役員改選等を審議

大阪府アミューズメント施設営業者協会（梅原靖三会長）は12月6日、第59回理事会を開催。（大阪市・とり菊3階、午後4時～7時30分、出席理事16名《含・代理2名》、運営委員4名、委任出席5名、事務局1名）

(1)新理事のご紹介

田副康夫氏（㈱セガ）転任のため理事を退任し、同社統括部長支店長《西寛氏》を、後任理事として推薦したいとの要請があり、審議の結果、新理事として就任する事が承認された。

(2)運営委員会よりの提案及び報告

①役員改選について

現理事の内、理事会への出席率が芳しくない理事については、今回実施する役員選出選挙から立候補者を外し、新たに3名以上の立候補者を擁立して改選を行なうことにした。

但し、右記項目に該当する理事には、立候補意志の有無を確認することにする。

これにより、役員改選について、以下の実施項目が承認された。

(a)改選選挙を実施するに当たり、選挙管理委員会を設ける。

(b)選挙管理委員会は、運営委員会が兼任する。

(c)今回改選する役員は、次のBグループで行なう。

元村・峯・川楠・加藤・楠井・土井・三穂・松村・岸田・吉田(英)・松下・(敬称略・順不同)

(d)前記立候補を外す予定の理事の意志確認は事務局が行なう。

(e)選挙実施日は、平成7年3月中に行なうこととし、2月初旬より準備に入る。

②障害者招待ゲーム大会開催について

事務局より、同大会が《大阪府及び大阪環境問題協議会》の後援承諾があったと報告があり、続いて同大会の運営内容について説明があった。又、名古屋市において開催した同趣旨の大会についても報告があった。

(3)平成7年新春賀詞交歓会開催承認について

恒例開催される標記賀詞交歓会、7年度も近畿地区協議会主催で、1月6日午後6時30分より大阪東洋ホテルにて開催される、と事務局より報告があり、同交歓会開催について承認した。

なお、パーティー料金は大阪府関係1万5千円、他府県関係1万4千円も併せて了承した。

(4)その他

例年、東京で開催される3協会（JAPRA・JAMMA・AOU）主催の賀詞交歓会が1月12日正午より赤坂プリンスホテルにて開催されると事務局より報告があり、出席希望者は事務局に申し込むことにした。

◆以上で、第59回理事会の全審議事項を終了し、引き続き年末懇親会を同場所で行ない午後7時30分散会した。

第6回AM3協会幹部懇談会(12/14)
「規制緩和要望」につき意見交換

12月14日、JAMMA、AOU、NSAのアミューズメント3協会の幹部懇親会が開催された。(JAMMA会議室、正午～午後2時、出席者JAMMA8人、AOU6人、NSA5人)

監事協会として、NSA内田会長の挨拶があった後、次の審議が行なわれた。

1、「AM業界実態調査」について

前回懇談会(8月26日)で共同プロジェクトとすることになった「AM業界実態調査」について日南専務理事(JAMMA)より説明。余暇開発センターに対する3団体のいたく契約が11月1日付で締結された。委託料479万円の分担比率は3(JAMMA)/2(AOU)/1(NSA)。12月上旬、アンケート調査票が約1200社に送付された。回答期限12月22日、調査結果報告書の納入は来年3月末となる。回収した調査データの秘密保持のため作業終了時に調査票は破棄されることが確認された。今回の調査ポイントは、いかに高い回収率を得るかに有り、各団体の協力をお願いしたい。

2、規制緩和要望の説明

各団体から関連文書が資料として提出された。橘法務委員長(AOU)は「いわゆる風営適化法の見直しに関する意見」(3団体懇談会のため作成した資料)について、日南専務理事(JAMMA)は「規制緩和について」(総務庁提出のもの)について、宮原常務理事(NSA)は「SC遊園の変遷と課題」(広報資料)について説明。出席者の発言は以下に要約される。

①リデンプション営業の承認に関する要望について各団体に異論はない。

②リデンプションの導入について、小規模ロケのオペレーターに危惧の念があり、メーカーの中にもデメリットを言うものがいるが、大局的にはリデンプション導入は市場の拡大に効果を期待できる。

③景品単価に関する要望は、その上限を1000円程度とするのが妥当である。

④参院地行委・小委員会は風適法付帯決議にもとづく機関であり、これまで7号営業に関するヒアリングは行なわれているようだが8号に関してはないので、この際、NSAとして状況説明の機会を探りたい。

⑤来年7月より改正電取法が施行され、娯楽機械は乙種となり届出のみとなる。安全性保持のためJAMMAは自主的な技術基準を設ける方針である。これについてオペレーターの理解が望まれる。次回懇談会での話題の一つとしたい。

3、合意事項

3協会連名の陳情文書を警察庁に提出する。その文案作成のため3協会の法務担当者による合同委員会を年内に開催する。次回懇談会は1月12日(木)赤坂プリンスホテルにおいて開催、幹事協会はAOU。

第18回健全営業推進委員会
健全営業遵守ポスター等につき審議

12月12日、第18回健全営業推進委員会(吉田勲委員長)が開催された。(京都タワーホテル、午後3時～5時、出席委員7名《含・代理1名》事務局1名)

(1)健全営業遵守ポスターの作成について

委員および事務局より原案が示され、テーマ、キャッチフレーズ、デザイン等について討議に入った。従来、「規制時間外の青少年の入場の禁止」をテーマに作成してきたが、今後も引き続き一層の浸透をはかる上から同テーマを踏襲するとともに、加えて青少年の健全育成の立場から「学校の就業時間帯の入場」「不相応な回数に及ぶプレイ」「高額紙幣の両替」等のテーマも検討していくことになった。

キャッチフレーズは「守る時間と帰る勇気とまた来る元気」が有力案として支持され、さらに検討を重ねるとともに、デザインについてもより訴求力のある構成を工夫することになった。次回の委員会で最終決定の上、1万枚を作成し、3月中に全国に配付することになった。

(2)来期活動計画と予算について

事務局より原案が示され、討議の結果了承された。さらなる組織率アップを図るため、来期も新たに100%加入推進県を指定し、予算を計上することになった。

(3)その他

①100%加入推進県に対して、必要であれば委員の視察を行ない、その動向を把握した上で、次回の委員会で報告を行なうことになった。

②メーカーの販売方法について問題点が指摘され、オペレーターの立場からメーカーに対して善処を求めることになった。

四国地区協議会(2/7・2/8)
全国大会の開催につき協議 新年会・ゴルフコンペも開催

日時・2月7日(火)
午後4時～5時30分

場所・ホテル奥道後
☎0899 77 1111

議題①AOU全国大会について
②その他

◎新年会
・会議終了後(6時～8時)
・会費・1万2千円/1名

◎ゴルフコンペ
・2月8日(水)9時スタート
・奥道後ゴルフクラブ
☎0899 93 3311
・会費・3千円/1名
・プレイ料金・1万3千円

事務局通信

◆新年おめでとうございます。厳しい業況の続く中での年あけではありますが、やはり新年、心を新たにお励みのことと存じます。催時多忙にかまけることなくと、事務局一同も頑張って参ります。(桐)

第29回広報委員会

◆日時・1月24日(火)
午後1時30分～5時

◆場所・大阪市・OSホテル

第3回調査研究委員会

◆日時・1月30日(月)
午後2時～3時

◆場所・名古屋市・名鉄ニューグランドホテル

AM産業界新春賀詞交歓会

◆日時・1月12日(木)
午後0時～2時

◆場所・赤坂プリンスホテル
別館5階ロイヤルルーム

近畿地区・新春賀詞交歓会

◆日時・1月6日(金)
午後6時30分～

◆場所・大阪市北区中津東洋ホテル「大淀の間」

編集後記

◆あけましておめでとうございます。昨年10月開催の青少年指導員養成講座での木村隆司講師による講演を掲載致しました。ご一読ください。3月開催予定のAOUセミナーは次号で詳報致します。(平)

「第2回'94障害者ふれあいゲーム大会津山」('94・11・4)にお礼状

昨年11月4日、岡山県アミューズメント施設営業者協会（松田次雄会長）の津山支部（川博久支部長）で「第2回'94障害者ふれあいゲーム大会津山」が開催されたが、先頃、津山ひかり学園、みのり学園より園生の感想文を添え、礼状が届けられた。ここにその一部を紹介します。

津山ひかり学園　園長　和田房子

秋冷の候、貴社におかれましては、益々ご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は本学園のために、何かとご協力を賜り深く感謝いたしております。

この度は、日ごろあまりしたことのないゲームに大勢の園生をご招待くださいまして有り難うございました。当日を大変楽しみにしておりましたので、園生一同楽しいひとときを過ごさせていただきました。又、多くの人とふれあい、社会経験を広げることができました。

これからも、皆様方のご理解あるご協力を得て、園生の育成指導に努力いたしたいと存じております。今後ともよろしくお願いいたします。

拙い文章ですが、園生の書きました礼状を同封致します。十分ではありませんが、意を汲んでいただけましたら幸です。

最後になりましたが、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

更生寮　美和　29才

ゲームについて

今日は、バスにのってゲームに行きました。とってもたのしいゲームでした私もおかしのつかみどりをしておもしろかったです　また行きたいと思っています　ゲームまたしたいと思います。たのしい一日のゲームでしたネ1時になって作業に行って　便座カバーをしました　便座カバーもむずかしかったと思います　便座カバーのふくろいれもむずかしかったです。

「第2回 障害者ふれあいゲーム大会 津山」('94.11.4)